

令和8年度DX協働モデル事例創出プロジェクト実施業務  
提案書評価基準

項目	評価の主なポイント	係数	評価値
1 実施方針	○本業務の内容や趣旨を理解し、基本的な考え方や、実施する上でのポイント等が的確に押さえられており、目的達成に向けた熱意が感じられるか。	1	4
	○小規模事業者等のDX推進に向けて、本業務が効果的に寄与することが期待でき、本格展開を見据えた本業務の位置づけが的確であるか。	1	4
2 業務内容			
(1) 課題やニーズの把握とテーマ設定			
ア 課題やニーズの把握	○想定される小規模事業者等の課題やニーズは、広島県内のDX取組状況等を踏まえており、妥当であるか。	1	4
	○小規模事業者等の課題やニーズを把握する方法は的確であり、商工団体、金融機関、業界団体等の支援機関との効果的な連携が期待できるか。	1	4
イ テーマ設定	○想定されるテーマ設定は、小規模事業者等のDX推進に向けて、課題やニーズを踏まえ、(ア)量的な拡大や(イ)質的な押し上げが期待できるテーマであるか。	2	8
	○次の要素については加点要素とし、1つ当てはまれば採点基準点を「2」、2つ当てはまれば「3」、3つ当てはまれば「4」とする。 なお、加点要素が無かった場合の採点基準点を「0」とする。 ・テーマ設定は4個以上提案があること。 ・業界団体で取り組む提案があること。 ・令和7年度試行テーマの更なる磨上げとなる提案があること。	3	12
(2) 参加事業者の募集	○設定するテーマに対して、参加事業者の獲得に向けたアプローチは適切であるか。 なお、それぞれのテーマにおいて量的な拡大を求めることから、参加事業者10社以上を獲得する具体的な提案があれば加点要素とする。	2	8
	○ランディングページのラフ案は、受け手にとって分かりやすく、視覚的に引き付けるものであるか。	1	4
(3) 共通課題の整理及び課題解決に向けた支援			
ア 共通課題の整理	○参加事業者の抱える課題を整理し、共通化するための手法は、効果的かつ適切であるか。	1	4
イ プロジェクト体制や支援内容	○整理した共通課題を解決する協働プロジェクトを組成し実施する体制や場所等は適切であるか。	1	4
	○本業務の目的を踏まえ、支援者は十分かつ有益な実績や経歴、資格を有しているか。また、過去の支援実績等から効果的に支援することが期待できるか。	2	8
	○プロジェクトの実施に当たって、商工団体、金融機関、業界団体等の支援機関やITベンダー、スタートアップ企業など外部専門家との効果的な連携が期待できるか。	1	4
ウ プロジェクトでの成果目標	○想定される成果は、定性・定量の両面において、妥当であるか。	1	4
	○それぞれの目標水準の測定方法や達成するための道筋は、的確かつ明確であるか。	1	4
(4) その他自由提案	○仕様書に記載されたこと以外に効果的な提案をしているか。 なお、提案自体が無かった場合の採点基準点を「0」とする。	1	4
(5) スケジュール	○本業務の実施期間内で取組内容が実施でき、目標達成が可能なスケジュールとなっているか。	1	4

項 目	評 価 の 主 な ポ イ ン ト	係 数	評 価 値
3 次年度以降の展開	○提案したプロジェクト案について、想定される次年度以降の展開は、実現可能性があり、妥当であるか。	2	8
4 実施体制	○本業務を実施するに当たって十分な体制となっているか。	1	4
5 経費	○経費の内訳は業務内容に見合った額となっているか。	1	4
評 価 値 合 計 (100点満点)			100

**評価表**

評価値	4	3	2	1	0
評価	非常に優れている	優れている	普通	劣っている	非常に劣っている

※各審査員の評価値の合計点数が満点（100点×委員数）の6割に満たない提案については候補者とししない。